



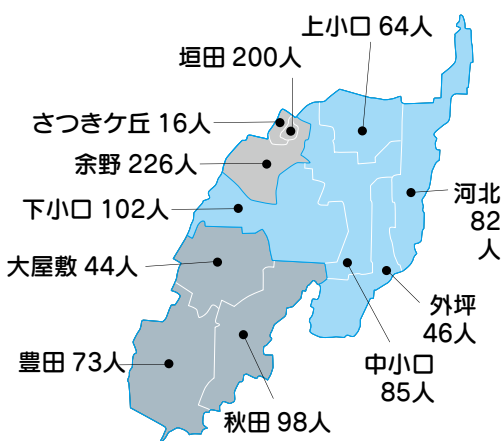
「サラダボールCo.」「Cerejaカフェ」「愛知華人華僑国際交流会」
「あいうえ Oguchi」「もやい」「まちなっと大口」

多文化共生レインボーとは？

大口町で多文化共生や国際交流に関わる事業をおこなっている団体が集まって結成しています

私たちが住むこのまちには、さまざまな人たちが暮らしています。それぞれの国籍・文化・習慣や価値観もさまざまです。それらを認め、尊重しあい、同じ地域の住人として、共に安心して暮らしていける社会。それが「多文化共生社会」です。

大口町内の外国籍住民数も年々増えており、年間約100名増加しています。令和8年4月現在では1036人、町民の4.3%（およそ23人に1人）の外国籍住民が暮らしています。この先も外国籍住民の方は増加していきます。国籍で区別せず、お互いを尊重し、支え合いながら、暮らしていくことが大切です。



行政区別外国籍人口

大口町の外国籍住民の多くが英語圏外であり多国籍化が進んでいます。多言語対応にも限界があり「やさしい日本語」の必要性が高まっています。

「やさしい日本語」とは相手の理解度に応じ、文法・言葉・文章の長さに配慮して「わかりやすく」した日本語です。1995年の阪神淡路大震災で、外国籍住民が地震発生の緊急速報や避難警報が理解できず、多くの方が被災したことをきっかけに取り組みが始まりました。

もともとは、外国籍住民向けに始まったやさしい日本語ですが、そのコミュニケーションのポイントを意識することで、こどもや高齢者、障がいがある方など、多くの人にとっての『やさしい』日本語になります。

「やさしい日本語」とは

やさしい日本語の作り方

- はじめに ① 数ある情報の中から必要なものを選択する
- 文章レベル ② 伝えたいことを前に持ってくる
③ 必要に応じて補足情報を加える
- 文レベル ④ 一文を短くする
⑤ 主語と述語を明確にする
- 単語レベル ⑥ 難しい言葉を易い言葉に置き換える
- 体裁を整える ⑦ 「分かち書き（単語と単語の間にスペースを入れる）」にする
⑧ 漢字には、すべてルビをふる
⑨ 必要に応じて、写真やイラストをつける

例文

資源ごみは、来週の日曜日です。
→ 缶やビンなどのごみは、来週の日曜日に捨ててください。

大雨警報が出ています。
→ 雨がたくさん降ります。気をつけてください。

緊急地震速報です。先ほど、東海地域で地震が発生しました。身の安全を確保し、速やかに最寄りの避難場所へ移動して下さい。

→ 地震です。東海地域で地震が起きました。安全なところに逃げてください。そのあと、近くの避難場所へ行ってください。



ウチ 徳輝さん
(中国出身)
大口町在住在勤

いつ日本にきましたか？

平成16年に来日しました。当時は日本語がまったく分かりませんでした。日本で結婚し子どもにも恵まれ、仕事も順調に続けています。苦労もありましたが、多くの学びと喜びがあり、今の生活に感謝しています。

大口町にきたきっかけは？

平成29年に仕事できました。静かで落ち着いた環境と、春に咲く美しい桜が気に入っています。機械設計の仕事をしており、世界トップレベルの機械企業があるこの地域で働けることを誇りに思っています。

好きな日本料理は何ですか？

寿司や焼肉が好きです。中国の餃子や羊肉火鍋もよく食べます。家族や友人と一緒に食事をする時間を大切にしています。

日本と中国の好きなところを教えてください。

日本の厳しさの中にある丁寧さや工匠精神、そして礼儀正しい人との接し方が好きです。一方で、中国の長い歴史に支えられた文化の奥深さや、常に新しいことに挑戦する創新精神にも魅力を感じています。

これからの夢は？

これからも家族とともに大口町で穏やかに暮らし、仕事を通して地域に貢献していきたいです。そして日中両国がこれからも友好的な関係を保ち続けることを願っています。



ラミチャネ プラディップさん
(ネパール出身)
大口町在住在勤

いつ日本にきましたか？

平成30年に留学生として日本へきました。ものづくりが好きな僕にとって、日本のものづくりの技術やカルチャーは憧れでした。日本人の勤勉な仕事への取り組み方と、生活や文化も自分に合っていると思えました。そして世界的にもお手本になっている日本の時間に対する正確さや暮らしの安全性を実際に感じてみたくて日本を選

大口町にきたきっかけは？

びました。東京で2年間日本語の語学学校に通い、その後靴作りの専門学校で2年間勉強しました。革靴メーカーからアプローチをうけ、大口町の工場に勤務が決まり大口町にきました。仕事の都合でしたが、東京と言う大きな町のノイズにそろそろ飽きたかなと思った頃に大口町の静かな町で暮らすことができ大満足です。

仕事以外の活動を教えてください。

引越し前は交通の利便性が少し心配でしたが、「コミュニティバス」が沢山のルートを走っていて安心しました。自然もお祭りなども豊富な町で引越して来てよかったです。毎年咲く美しい桜もとても気に入っています。

ネパールについて教えてください。

大体の人が三角の国旗とカレーの

イメージだと思っています。その他に、知って欲しいことをご紹介します。ネパールは他国に植民地支配されたとなく、実質的に独立を保ち続けてきた国です。

地理的には、標高60メートルから8848メートルまでの極端な高度差がある珍しい構造で、面積は14万7000km²、人口は2969万人くらいです。小さい国ながらも8000mの山が8座もあり、沢山の川や清流など観光スポットも盛り沢山です。

また、古い時代に作られた美しい寺院やお城なども沢山。特に首都のカトマンズは寺院のまちと呼ばれ、町そのものが美術館のようで、繊細な造りの寺院であふれています。

日本の民族は少ないので驚くかもしれませんが、ネパールは今も全国で125以上の民族がいます。

これからの夢は？

将来はもっと人の役に立てればと思います。それに先立ち、まず日本国籍を取得して日本にいる外国人の日本語や日本の文化、公的な手続きをサポートしていきたいと思っています。あと、できるだけ多くの温泉や観光地を旅したいですね。

サラダボールCO.

諸般の事情から今年、団体を解散することになりました。皆様のご協力により令和7年度の「エコキャップ運動」で累計666人分のワケチンを世界の子どもたちに寄付できました。また近年では子どもたちの「未来に生きる力」を育む「大口子どもカレッジ」も開催できました。

ご協力いただいた皆さんのご厚情に心から感謝します。



こどもの日本語・学習サポート教室 あいづえOguchi

毎週木曜日、白山ふれあいの森で活動中。学年も違えばルーツも違う子どもたちです。学校の宿題やドリルをすることで日本語の学習、遊びを通して友達との関係づくりを学びます。

昨年は進路力



イダンスを開催、将来について考えました。吹奏楽の演奏会に出かけたり、冬休みのお楽しみ会では家族も一緒に楽しい時間を過ごしました。

日本語教室

Cereja (セレジャ) カフェ

毎週土曜日午後6時から町民活動センターで活動中です。

活動開始から11年が経過した令和7年度はボランティアが3名増え、学習者の方もほぼ定着していて、落ち着いた雰囲気です。今後もわきあいあいと楽しく教室活動が続いていければと思っています。今後ともわきあいあいと楽しく教室活動



NPO法人まちねつと大口

Cerejaカフェをはじめ、NPO団体のサポートや多文化共生に関する事業を町民活動センターを拠点としておこなっています。

多文化共生レインボーの皆さん、大口町とともに、多文化共生社会実

現のための事業や講座を開催していきますので、皆さん、どうぞご参加ください。地域団体や企業との連携企画も大歓迎です！



愛知華人華僑国際交流会

平成27年に発足し、日中友好の懸け橋の役割を果たすべく、文化交流を中心とした活動をおこなっています。

中国の伝統文化と郷土料理の得意な会員が在籍しており、在日外国人のサポートもしています。ふれあいまつりに出展しており、今後も大口町を中心に活動していきます。



もやい

大口町海外派遣事業経験者のうち有志のメンバーが参加しています。

大口町海外派遣事業参加者のサ

ポートに加え、国際交流や被災地復興支援に関する活動を行ってききました。町内事業に参加することでまちづくりへの興味関心を高め、未来の大口町の若い力の育成を目指します。



ボランティア募集

町内2つの日本語教室では、ボランティアを募集しています。多文化共生や仲間づくりに関心のある方、ぜひ活動に参加しませんか。資格経験は問いません。

▽こどもの日本語・学習サポート教室 あいづえOguchi
▽日本語教室 Cereja カフェ
問合せ先

まちねつと大口 ☎22-6642